

平成 20 年 9 月 16 日

各 位

会社名 日本調剤株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 三津原 博  
 (コード番号 3341 東証第 1 部)  
 問合せ先 常務取締役 伊藤 善博  
 (TEL . 03 - 6810 - 0800)

**業績予想の修正に関するお知らせ**

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 4 月 30 日に公表しました業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

**記**
**1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)**  
 (単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 42,886	百万円 1,182	百万円 1,088	百万円 506	円 銭 65.22
今回修正予想 (B)	40,967	494	315	38	5.09
増減額 (B - A)	1,919	688	773	468	-
増減率 (%)	4.5	58.2	71.0	92.5	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	37,388	1,199	1,106	295	37.29

**2. 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)**

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり純利益
前回発表予想 (A)	百万円 92,930	百万円 4,479	百万円 4,339	百万円 2,441	円 銭 314.57
今回修正予想 (B)	83,652	2,103	1,785	500	67.01
増減額 (B - A)	9,278	2,376	2,554	1,941	-
増減率 (%)	10.0	53.0	58.9	79.5	-
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	79,801	2,823	2,568	399	50.66

3.平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 38,857	百万円 1,161	百万円 1,067	百万円 544	円 銭 70.13
今回修正予想（B）	37,567	650	545	327	43.82
増減額（B - A）	1,290	511	522	217	-
増減率（%）	3.3	44.0	48.9	39.9	-
（ご参考）前期第 2 四半期実績（平成 20 年 3 月期第 2 四半期）	34,919	1,356	1,298	634	80.19

4.平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり純利益
前回発表予想（A）	百万円 82,707	百万円 3,583	百万円 3,443	百万円 1,654	円 銭 213.11
今回修正予想（B）	77,931	1,942	1,835	949	127.18
増減額（B - A）	4,776	1,641	1,608	705	-
増減率（%）	5.8	45.8	46.7	42.6	-
（ご参考）前期実績（平成 20 年 3 月期）	74,306	3,558	3,396	1,508	191.14

5.修正の理由

（連結業績予想）

当社グループの当期の事業環境は、本年 4 月に実施された薬価改定・調剤報酬改定の影響を大きく受けております。当社の主力事業である調剤薬局事業では、改定に伴う調剤報酬収入の減少により利益面でのマイナス影響が収益を圧迫しております。また医薬品製造販売事業においては、4 月からのジェネリック医薬品の普及・促進施策である新処方せん様式の実施に対応して順調な滑り出しを見せたものの、第 2 四半期以降、期待されたジェネリック医薬品の市場拡大が進まず、同事業の売上高が計画未達となる見込みであり、第 2 四半期累計期間連結業績において前回発表の当社予想を下回る見込みです。

通期業績につきましては、調剤薬局事業はジェネリック医薬品対応型薬局としての新規顧客の獲得、調剤報酬の新たな獲得努力、徹底したコスト削減等により、収益の改善を図る見込みです。しかしながら、医薬品製造販売事業での今後の市場環境が不透明であり、現時点においてはジェネリック医薬品の普及が進展せず現状のまま停滞する可能性があることから、当期の環境変化による同事業の売上計画の見直しにより、前回発表の当社予想を下回る見込みです。

(個別業績予想)

前述のとおり、第 2 四半期累計期間は、薬価改定、調剤報酬改定の影響を受け、調剤報酬収入の減少を中心として、処方せん様式の変更に伴うジェネリック医薬品の在庫負担増、販売管理費増等の期初に発生した一過性の費用による収益性悪化を補うまでには至らず、当初の当社予想を下回る見込みです。通期業績については、順調な収益の改善効果は見込まれるものの、第 2 四半期累計期間までの薬価改定、調剤報酬改定による収益悪化を補うまでには至らず、同様に当社予想を下回る見込みです。

なお、平成 21 年 3 月期の配当につきましては、当初予想の第 2 四半期末並びに期末の 1 株当たり配当金額(第 2 四半期末配当金 20 円、期末配当金 20 円)を変更する予定はありません。

(注)上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、これら予想数値と異なる可能性がありますこと、ご承知おきください。

以上